



開会挨拶をする眞田 眞 大会長
Makoto SANADA declares the opening of the ceremony.

Opening Ceremony

2005 開会式

2005ツール・ド・北海道国際大会は、9月14日に帯広市北海道ホテルで行われた開会式で、幕を開けた。今回の大会は、海外から招請された5チームと、国内実業団8チーム、国内大学7チームの計20チームが参加。プロローグを終えずでに戦いのモードに入っている選手たちは、華やかな会場の雰囲気の中で時折、笑顔を見せながらも、引き締まった表情で気持ちを高めていた。



北海道カップの返還 (チームラバネロ 米山 一輝より)
Return of Hokkaido Cup from YONEYAMA (RAVENELLO)



選手宣誓 三船 雅彦 (ミヤタ・スバル)
MIFUNE (miyata-SUBARU) makes a pledge for fair play.

Closing and Awards Ceremony

2005 閉会式・表彰式



閉会宣言 中川 利若 大会実行委員長
NAKAGAWA, Toshiwaka

9月19日、第5ステージ終了後の午後5時から、モエレ沼公園内のガラスのピラミッドで、第19回ツール・ド・北海道国際大会の閉会式が開催された。閉会式では、どの選手たちも、戦いの余韻を残しながらもリラックスした雰囲気を漂わせ、お互いの健闘を讃え合った。長くもあり短くもあつた6日間の戦いはここに幕を閉じた。そして多くの期待を胸に、来年もまた、ツール・ド・北海道は、北の地に幕を開ける。

北の大地に新しいドラマを刻んだ勝者を称えて。



個人総合時間賞ラッチィ (NIPPO)
RATTI (NIPPO)



特別賞 村上 (鹿屋大)
MURAKAMI (NIFS in Kanoya)



団体総合時間賞 (2位 愛三工業、1位 チームNIPPO、3位 BSアンカー)
(L to R) AISAN Racing Team, Team NIPPO and Team BS Anchor



個人総合山岳賞 2位 別府 (愛三)、1位 ラッチィ (NIPPO)、3位 新保 (愛三)
(L to R) BEPPU (AISAN), RATTI (NIPPO) and SHIMBO (AISAN)

個人総合ポイント賞 2位 ラッチィ、1位 ヴィズィアック (NIPPO)、3位 シュラー (ドイツ)
(L to R) RATTI, WIESIAK (NIPPO) and SCHUELER (Germany)



個人総合時間賞 2位 岡崎、1位 ラッチィ (NIPPO)、3位 清水 (都) (BSアンカー)
(L to R) OKAZAKI, WIESIAK (NIPPO) and SHIMIZU (BS Anchor)